

## 塾長雑感

## 自分に残された時間 今なにをやるべきか

部活が終わるシーズンを迎え、受験生は本格的に受験勉強に突入しているところです。正直、1年の時に学校の宿題以外の勉強をもっとやっていたら・・・2年の時に英数をやっていたら・・・などという後悔もあることでしょう。

しかし、現実的に残された時間で出来る限りの勉強をする他ありません。大学受験が難しいとされているのは、試験難易度のほかに、制限時間があるからです。

ここでいう制限時間とは試験の制限時間のことではありません。

現在から試験日までの残された時間です。過去問集を4周はやるつもりが、2周目で試験日をむかえてしまった・・・なんてことも起こります。

一般に、高校生は時間が足りません。

合格最低点分の入試問題が解ければ合格しますが、問題が解けれなければ落ちます。AO、推薦、海外組は学校評定の重さのこともあるのでさておき、一般の受験生としては、入試問題が解けるようになるための勉強だけを優先順位をつけながら、不必要なことは勇気をもって切り捨て、こなしていきましょう。要領の良さも学力のひとつです。

自分に残された時間、試験日までの制限時間を意識し、学期終わりまでに何をマスターしておかなければならないか考えると、勉強のやる気が相当湧いてくるものです。

国公立中生や愛光等の一貫校2年までを除き、一貫校3年以上や高1高2は、学校の宿題に時間をとられすぎない程度に、自分の成長のために必要な勉強をしていきましょう。

生徒ひとりひとり、覚えてない知識も理解できてない箇所も違えば、やらなければならないレベル帯も違い、マークか記述か、国立か私立か、使用する科目か、目的も違います。

それが、学校の先生の一定の尺度で出すにすぎません。成長するために学校の宿題が不要な根拠を言い出せばきりがありませんが、上記の制限時間オーバーになることもかなり大きいです。

超進学校では、そもそも宿題というものがあがる学校が少なく、強制も少ないです。一例をあげると、当時の話にはなりますが、家庭教師で教えていた開成の生徒は、宿題がありませんでした。中1の最初に少しだけ英語を書き写すものがでたぐらいだそうです。

学校の宿題が無意味だとわかっているからなのか、それとも生徒が不要だと反発するからなのか、保護者が学校には何も期待していないからなのか、志望校合格レベルになるための必要な日々の課題を別でやらなければならないからなのか、

学校の宿題に意識をとられすぎると（\*学年や内容や目的や科目にもよりますが）落ちるのは間違いありません。なぜそれをやりこむ必要があるのかよく考え、解答を渡されていない等の学校宿題は割り切って消化していきましょう。高3になり、入試や過去問に歯が立たず、「高1高2からやっていたら・・・」となることのないようにしたいですね。無駄なこと深追いしないことも学力のひとつです。

ただ、「そもそも勉強をやってない」という原因で落ちる生徒が大半を占める世の中です。今、何の勉強をすれば落ちるか。何をすれば合格レベルにいけるか。万全のアドバイスをしていきます。この塾では何をやればいいのかわからないというような悩みはありません。

## 片岡先生の受験生応援企画コーナー

## 文系センター試験地学、ゼロから9割まで何日でいけるか？

片岡 地学スペック

中学生の高校入試の理科のみ全て習得済。

高校地学はゼロから再スタート。

条件

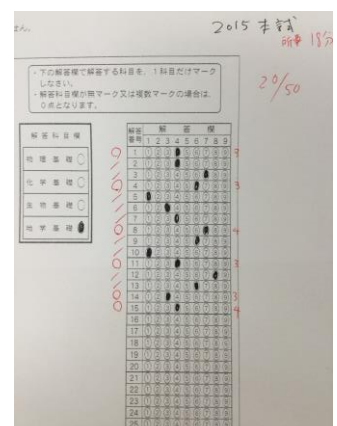
- ・教えてもらうことは禁止
- ・やらせ禁止
- ・塾長作成の学習計画とやり方で独学

ために高校地学がゼロの状態、

6月15日に解いた2015年度文系センター試験本試地学の結果は

得点率4割でした。続報を楽しみに。

to be continued.....



## 学習計画の概略

1. インプット本(文系のための分野別センター地学基礎) 5周～7周以上
2. 過去問 周回